



## 2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 横浜冷凍株式会社  
 コード番号 2874 URL <https://www.yokorei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 松原 弘幸

(氏名) 吉田 豊

TEL 045-210-0011

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	86,167	△19.3	2,503	△33.1	2,833	△31.5	1,755	△31.2
2019年9月期第3四半期	106,779	△17.8	3,743	8.1	4,137	10.5	2,550	8.3

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 △1,201百万円 (△206.1%) 2019年9月期第3四半期 1,132百万円 (△67.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	29.91	—
2019年9月期第3四半期	43.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第3四半期	179,920	78,164	42.2	1,291.64
2019年9月期	179,247	80,580	43.7	1,336.12

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 75,910百万円 2019年9月期 78,310百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	11.50	—	—	—
2020年9月期	—	11.50	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,000	△18.6	2,800	△41.4	3,000	△39.3	1,600	△52.7	28.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 — 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) (株)アライアンスシーフーズ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	59,266,684 株	2019年9月期	59,266,684 株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	496,022 株	2019年9月期	656,151 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	58,706,606 株	2019年9月期3Q	58,610,767 株

当第3四半期において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式261,460株を自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、当社グループを取り巻く経済状況、事業環境、他社との競争、自然災害、金利等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による企業への休業要請や、県外への移動を伴う外出自粛等により急激に悪化しました。

海外においても、各国主要都市でロックダウン（都市封鎖）や外出禁止令が発令され、経済は急激に減速しました。

当社がかかわる食品販売事業においても同感染症の影響は大きく、4月に発令された緊急事態宣言により、外食業界において飲食店の営業自粛や営業時間の短縮を余儀なくされました。緊急事態宣言が解除された6月以降も回復に向けた動きは鈍く、極めて不透明な状況が続いています。

このような状況のもと当社グループは、最終年度となりました第六次中期経営計画「Growing Value 2020」（3カ年）に基づき、冷蔵倉庫事業では「マーケットインに 대응する革新と進化」を目指し、食品販売事業では「食料資源の開発と食プロデュースによる安定供給構造の構築」を目指して、事業運営方針の各施策に取り組んでいます。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高86,167百万円（前期比19.3%減）、営業利益2,503百万円（前期比33.1%減）、経常利益2,833百万円（前期比31.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,755百万円（前期比31.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

## （冷蔵倉庫事業）

当第3四半期連結累計期間は増収増益となりました。4月に発令された緊急事態宣言以降、荷動きの停滞はより顕著となり、入出庫量が減少しました。3月末時点で高かった在庫量が更に増加したため、保管料収入は伸長し、荷役料の減収を補って増益に寄与しています。

タイの連結子会社THAI YOKOREI CO., LTD. は、前期から続いていた高い在庫水準が一部の品目で落ち着いたため、減益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高21,273百万円（前期比0.4%増）、営業利益5,037百万円（前期比1.3%増）となりました。

## （食品販売事業）

当第3四半期連結累計期間は新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、荷動きの停滞による取扱量の減少、相場下落による利益の減少が発生し、減収減益となりました。

水産品は、第2四半期に比べ粗利率は回復したものの、減収減益となりました。利益率の回復したホッケ、イカは増益となりましたが、取扱量を抑えた鮭鱒、シラスウナギ豊漁の影響を受け相場が下落したウナギ、不漁によって取扱量が減少したサバは減益となりました。

畜産品は減収減益となりました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ポーク、ビーフ、チキンの主要販売先であるホテル・外食向けの荷動きが停滞したため取扱量が下がり、相場も下落したため利益率も悪化しました。

農産品は主要品目のイモ類で利益を重視した販売を行い、減収ながら利益は横ばいとなりました。

ノルウェー養殖事業は水揚げ量の減少と生産コストの増加により減収減益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高64,855百万円（前期比24.2%減）、営業損益492百万円の損失計上（前期は746百万円の利益計上）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## （資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ673百万円増加し、179,920百万円となりました。これは主に有形固定資産が5,146百万円、短期貸付金が2,840百万円増加したこと、無形固定資産が2,850百万円、商品が2,674百万円、受取手形及び売掛金が2,044百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ3,089百万円増加し、101,756百万円となりました。これは主に借入金が4,643百万円増加したこと、未払法人税等が1,291百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,416百万円減少し、78,164百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ130百万円減少の3,246百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、9,825百万円の資金の増加(前年同四半期は19,187百万円の資金の増加)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益2,833百万円、減価償却費4,346百万円、たな卸資産の減少額2,260百万円等による資金の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、13,305百万円の資金の減少(前年同四半期は18,115百万円の資金の減少)となり、その主な内容は貸付金の回収による収入2,030百万円等による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出10,653百万円、貸付による支出4,642百万円等による資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,600百万円の資金の増加(前年同四半期は290百万円の資金の減少)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額5,193百万円による資金の増加と、配当金の支払額1,357百万円等による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期業績予想について、新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりから適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測に基づき業績予想を算出しました。

詳細につきましては、2020年7月31日に公表しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,387	3,256
受取手形及び売掛金	17,284	15,239
商品	17,888	15,213
前渡金	974	240
短期貸付金(純額)	17,734	20,574
その他	945	1,343
貸倒引当金	△19	△48
流動資産合計	58,195	55,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,738	52,024
機械装置及び運搬具(純額)	7,003	8,332
土地	29,017	29,685
リース資産(純額)	1,419	1,409
建設仮勘定	3,418	1,251
その他(純額)	1,117	1,158
有形固定資産合計	88,715	93,862
無形固定資産		
のれん	6,060	4,605
海外養殖事業ライセンス	6,816	5,519
その他	2,317	2,218
無形固定資産合計	15,194	12,344
投資その他の資産		
投資有価証券	12,790	13,803
長期貸付金	3,951	3,713
繰延税金資産	24	0
その他	778	804
貸倒引当金	△403	△428
投資その他の資産合計	17,141	17,892
固定資産合計	121,052	124,099
資産合計	179,247	179,920

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,011	4,374
短期借入金	16,238	24,433
1年内返済予定の長期借入金	4,640	5,597
リース債務	226	263
未払法人税等	1,373	82
賞与引当金	757	211
役員賞与引当金	32	23
その他	6,109	6,554
流動負債合計	34,389	41,539
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	39,071	34,562
リース債務	889	846
繰延税金負債	2,592	3,089
役員報酬BIP信託引当金	221	143
退職給付に係る負債	829	762
資産除去債務	91	91
その他	580	720
固定負債合計	64,277	60,217
負債合計	98,666	101,756
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,303	14,303
資本剰余金	14,370	14,387
利益剰余金	45,956	46,356
自己株式	△507	△382
株主資本合計	74,122	74,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,697	4,372
繰延ヘッジ損益	75	160
為替換算調整勘定	489	△3,303
退職給付に係る調整累計額	△74	16
その他の包括利益累計額合計	4,187	1,245
非支配株主持分	2,269	2,253
純資産合計	80,580	78,164
負債純資産合計	179,247	179,920

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	106,779	86,167
売上原価	95,188	76,020
売上総利益	11,591	10,146
販売費及び一般管理費	7,847	7,643
営業利益	3,743	2,503
営業外収益		
受取利息	531	695
受取配当金	196	131
保険配当金	39	31
仕入割引	238	44
その他	471	518
営業外収益合計	1,476	1,421
営業外費用		
支払利息	595	491
デリバティブ評価損	—	241
支払手数料	2	2
その他	484	356
営業外費用合計	1,082	1,092
経常利益	4,137	2,833
税金等調整前四半期純利益	4,137	2,833
法人税、住民税及び事業税	798	495
法人税等調整額	395	540
法人税等合計	1,193	1,035
四半期純利益	2,943	1,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	393	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,550	1,755



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,943	1,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,114	674
繰延ヘッジ損益	89	84
為替換算調整勘定	△800	△3,848
退職給付に係る調整額	14	90
その他の包括利益合計	△1,811	△2,998
四半期包括利益	1,132	△1,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	700	△1,186
非支配株主に係る四半期包括利益	432	△15

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,137	2,833
減価償却費	4,230	4,346
のれん償却額	419	349
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△546	△546
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	54
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	78	25
役員報酬B I P 信託引当金の増減額 (△は減少)	40	—
受取利息及び受取配当金	△727	△826
支払利息	595	491
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	241
売上債権の増減額 (△は増加)	2,716	1,602
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,050	2,260
前渡金の増減額 (△は増加)	4,545	732
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,095	△512
未払費用の増減額 (△は減少)	△343	△392
その他	965	332
小計	20,243	10,982
利息及び配当金の受取額	691	848
利息の支払額	△498	△403
法人税等の支払額	△1,248	△1,603
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,187	9,825
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,224	△10,653
有形固定資産の売却による収入	5	4
無形固定資産の取得による支出	△732	△57
投資有価証券の取得による支出	△4	△103
投資有価証券の売却による収入	—	178
貸付けによる支出	△7,495	△4,642
貸付金の回収による収入	1,361	2,030
その他	△24	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,115	△13,305
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,558	8,269
長期借入れによる収入	2,065	—
長期借入金の返済による支出	△4,281	△3,076
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,444	△1,357
その他	△188	△235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△290	3,600
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	757	△130
現金及び現金同等物の期首残高	2,907	3,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,665	3,246

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,189	85,547	42	106,779	—	106,779
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,297	—	31	1,328	△1,328	—
計	22,486	85,547	74	108,108	△1,328	106,779
セグメント利益又は損失 (△)	4,971	746	43	5,762	△2,019	3,743

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,019百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,273	64,855	38	86,167	—	86,167
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,090	—	36	1,126	△1,126	—
計	22,363	64,855	74	87,293	△1,126	86,167
セグメント利益又は損失 (△)	5,037	△492	41	4,586	△2,083	2,503

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,083百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。